

(報道各社への取材の御案内)

~高低差 10mの筑後川から水を引くため、江戸時代、つるはしだけで2kmのトンネルを掘り抜いた偉業~
郷土の偉人・田代重栄 没後 330 年を記念して制作、DVD「袋野隧道物語」完成

袋野隧道は江戸時代に地元の大庄屋・田代重栄、重仍親子が私財を投じ完成させた全長約 2 kmの灌漑用のトンネル。筑後川から取水した水は隧道を流れ、約 400 畝の田畑を潤す。

重栄没後 330 年に当たり郷土の歴史を学ぶため制作した「袋野隧道物語」(15 分の DVD)とパンフレットが完成し、袋野堰土地改良区の関係者 40 人あまりに初披露される。

- 日時 12 月 1 日 (金) 午後 3 時から
- 場所 よあけ会館 (うきは市浮羽町西隈上 11-2、JR うきは駅の北東約 150m)
- 内容 DVD「袋野隧道物語」上映、今回の制作監修者・佐藤好英さんによる講演



▲ 3 年ごとに隧道の中を歩く探検会を開催



▲ 今夏の九州北部豪雨による夜明ダム損壊により、突如現れた袋野堰の跡 (今年 8 月)

袋野隧道は江戸時代 (1673 年) に地元の大庄屋・田代重栄(しげよし)、重仍(しげより)親子が私財を投じ完成させた全長約 2 kmの灌漑用のトンネル。

1672 年 6 月、坑夫はツルハシのみを頼りに筑後川左岸「うその瀬」と呼ばれる岸壁から掘り進み始め、約 70m おきに外部から横穴を掘り、石塊を出してはまた測量し直しながら翌年 3 月、トンネルを完遂。

川から取水した水は隧道を流れ、約 400 畝の田畑を潤す。『田畑潤す貫水(ぬきみず)に偉人の功俣ばれて』と地元山春小学校の校歌で歌い継がれる。

重栄を祀る田栄(たさか)神社では、命日(貞享 4 年・1687 年 3 月 14 日没、行年 72 歳)に当たる 4 月 14 日(旧暦により月遅れ)に毎年祭典が行われている。